

公開講演会  
同志社大学アメリカ研究所主催 同志社大学社会学会共催  
戦争とメディア：ジャーナリストの役割とは？

ピーター・アーネット  
(WAR AND MEDIA: THE ROLE  
OF JOURNALISTS)  
Peter Arnett



講演するアーネット氏

2009年12月2日（於 明德館1番教室）

翻訳：同志社大学教授 渡辺武達

本稿は実際の講演を基に、その後アーネット氏との会話から一部を補ったものである。写真提供はピーター・アーネット氏および同志社大学広報課。

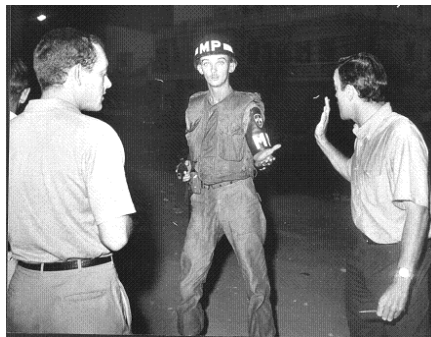
講師略歴：1934年ニュージーランド生まれ。地元新聞の記者からシドニー（オーストラリア）へ移り、1958年からはバンコク（タイ）およびヴィエンチャン（ラオス）で現地新聞の記者。62-75年、AP 通信特派員としてヴェトナム戦争報道。81-99年、CNN 特派員として中南米、中東、中央アジア、アフリカの武力紛争を幅広く取材。人生の大半を戦場で過ごし、66年にベトナム報道でピューリッツァー賞（国際報道部門）を受賞。91年湾岸戦争に際しては、

サダム・フセイン、イラク大統領へのインタビューを果たし、97年には西欧人記者として初めてオサマ・ビン・ラディンへのインタビューに成功。2003年のイラク戦争勃発時、『ナショナル・ジオグラフィック』誌の記者としてバグダッドにいたアーネット氏は、現地から撤退した西側記者に代わってイラク戦争を報じ続けた。エミー賞他多数の賞を受賞。著書に *Live from the Battlefield: From Vietnam to Baghdad, 35 Years in World's War Zones* (1994年刊、日本版は沼澤治治訳『戦争特派員 CNN 名物記者の自伝』新潮社、1995年)。他に、読売新聞外報部訳『戦争は地獄だールポ：インドシナの残虐』読売新聞社、1970年刊（英語版‘WAR IS HELL’は未刊）等がある。2006年からは中国福建省汕頭大学長江ジャーナリズム・コミュニケーション学院教授をしながら戦争報道と著作に従事。

### はじめにー民主社会とプレスと自由

今朝（日本時間12月2日午前8時）、バラク・オバマ大統領はアフガニスタンへの米兵3万人の増派を発表しました。これからのアフガンやイラク、そしてそれらの地域へのアメリカの関与はどうなるのか。残念なことに今日のメディアによるそうした断片的報道だけでは戦場の実態があまりよくわからず、それらの政治的決定についてどのように判断したらいいのか、一般の人にはむずかしいでしょう。本日は私の過去50年にわたる戦場からの現場報道を振り返りながら、メディアと政治権力との多様な関係からジャーナリストの社会的役割と責任について考えてみたいと思います。

まず、この写真をご覧いただきたいのですが、それは外国における米軍とメディアとの好ましからざる、じつにやっかいな場面を表しています。



米軍憲兵にピストルで取材妨害されるアーネット氏ら（右）

これはもう40年以上も前のことですが、1966年の旧南ベトナムのサイゴン（現在はホーチミン市に改名）で、私たち報道記者が米軍憲兵（MP）によって脅迫され、取材妨害されている場面で、AP通信の同僚記者が撮ったものです。もちろん、自由社会アメリカにとってこれはあってはならない情景です。この現場写真は、さっそく翌朝の米国のテレビや新聞で報道されました。

米国は憲法で報道の自由を認めた民主国家を標榜し、国民もメディアは民主制を維持、向上させていると考えていますから、この写真は米国民にとって驚愕であり、軍と政府にとっては隠しておきたいベトナムでの米軍の横暴な現実が明らかになった瞬間でした。じっさい、この写真を見るまでの米国市民はたとえ外国においても米軍がそんなことをしているとは想像さえしていなかったのですから。

当時のベトナムではすでに仏教徒を中心として、焼身自殺を含む激しい反政府運動が起きており、私たち記者も彼らの集会現場の取材に出かけました。それほどまでに国民の支持が小さく、分裂しているベトナム政府を応援していることを、自国民に知られたくない米軍の憲兵が私たちの取材を妨害し、現場から記者を追い払おうとしたわけです。しかし、その写真が米国本国で報道されると、国務省はあわてて、このような憲兵隊員による行為は二度と起こしてはならないと通達しました。市民が知らないところでの間違っただけの行動がプレス（報道）によって訂正された一例で、ベトナム戦争ではメディアが政府からの独立性を保って取材し、報道できたということの証明でもあります。

もちろん当時も、すべての報道記者がそうして自立できていたわけではなく、戦場で軍とともに行動している記者たちの多くはどちらかといえば、軍と持ちつ持たれつに関係にありましたが、自分の安全確保やその他の理由でそうせざるをえない事情があったことも事実です。だが、私自身の経験から一般論として言えることは、ジャーナリストが戦場に展開する部隊と一緒に行動することを許される場合は、強い個人的関係があるときをのぞけば、米軍の現場担当 PR 責任者が、そのジャーナリストを自分たちにつごうのよい枠組の中に取り込んだと考えるときだけであるということです。

『軍事評論』(Military Review) という雑誌の発行責任者で、軍に影響力のあったウィリアム・ダーレー大佐 (Colonel William Darley) はこのことについて次のように書いています。「米国軍人たちにはよく認識して欲しいのだが、ジャーナリストたちは軍人ときわめてよく似た信念を持っている。また、ジャーナリストたちは自分たちのことを〈理想の遂行者〉だと信じている。彼らは金銭が目的ではなく、真実を語り、その真実をアメリカ人に伝えることを自らの使命だと信じている。」さらに大佐は続けてこうも言っています。「彼らは戦争を含め、アメリカ人たちが自分たちの政府のやっていることについてまともな判断ができ

るように、自分たちの至高の課題を遂行する必要があると信じている、そしてまた、多くの場合、ジャーナリストたちはほとんどが、自分たちはきわめて有能であると信じ、じっさいにもきわめて有能である」と。

ジャーナリズムと社会との関係はたしかにこうあるべきですが、米国が20世紀に経験した2つの大戦争では、プレス（報道機関）が進んで戦争に協力するという立場を採ったということも事実です。1914-18年の第一次大戦と39-45年の第二次大戦の2つの戦争については、米国人たちは自国がその生存を問われた戦争だとし、それにプレスは協力すべきだと考え、実際にそうしてきました。

そのため、プレスはこの両大戦期には政府による検閲制度の実施に全面的に同意して、軍服を着て、士官クラスの肩書きと同等の権限を与えられて報道に従事しました。その結果、すべてのニュース記事、すべての写真・映像資料はとことん、政府の専門機関による検閲を受けたうえで配信されており、それは祖国アメリカの国土を防衛するという総動員体制の実態の一部でありました。しかし、その両大戦以後、つまり私がインドシナで米国メディアの戦争特派員としての仕事を始めた1962年頃には、プレスは政府と一体化した役割を担うべきだという考え方は米国メディアにはありませんでしたし、戦争遂行そのものにも国内からの反対がありました。また、それ以降のじっさいに勝てなかった戦争では開戦派にとっての深刻な政治的ダメージになった例もあります。さらには、実相が明らかにされた場合のマイナスが多すぎるということで、両大戦のような国家存亡の危機の場合を除き、報道を完全検閲すべきであるという考え方も採用されてきませんでした。つまり、米国が全面的な検閲をするときは国家の非常事態に限るべきだとされてきました。

第二次大戦以降に米国がかかわった戦争には、朝鮮半島、ベトナム、カンボジア、グレナダ、パナマ、レバノン、クウェートとイラク、ソマリア、ボスニア、コソボ、アフガニスタン、そして第二次のイラク……とありますが、この50年間にはこの中で、直接の検閲が実施されたのは第一次湾岸戦争（1991）、9.11事件（2001）以後のアフガニスタン、2003年に先制攻撃で始まったイラク戦争の3つだけです。皆さんは検閲が良いものであるはずがないとお考えでしょうが、まったくその通りです。しかし、現実に米軍は他の政府機関とおなじように、政府組織の一部なのです。

もちろん、ジャーナリストに戦争の報道をさせる、させないといった憲法条項や法規定などはありません。米国での戦争報道の歴史はかれこれ200年前までさかのぼることができますが、それはメディアの当然の活動として行われてきたのであって、そこに報道する権利とか義務といった考え方はない。あったのは自分の国の戦争について市民が知る権利を享受できるようにメディアが行う活動と、

戦場からの情報の流れをコントロールしようとする米国政府とその軍事権力との間の葛藤であり、ニュージーランド生まれの私がかからずも最初に戦場取材にかかわるようになった1958年のインドネシア、その後のインドシナで本格的な仕事を始めた60年代以降の報道も概してそうした特徴を持ったものでありました。

### イラク報道と国防総省による「埋め込み」取材統制

ところが、現在のイラクの現場は近代のジャーナリズムが経験した中で、もっとも危険な課題を物理的に突きつける場所となっています。そこでは、これまでに250人以上のジャーナリストが戦闘に巻き込まれて死亡し、しかもその八割ほどが外国メディアの手伝いをしていた現地のメディア関係者なのです。加えて、もし14万人以上の米国軍隊がそこに派遣されていなければ、もうとっくに西側のメディアはジャーナリストを送り込まず、外部への「報道」などなくなっていたでありましょう。さらに、このイラクは、ジャーナリストが「埋め込み取材」(EMBED)という、軍隊との距離をもっとも縮めて米軍兵士たちとともに行動する「従軍」戦争の現場になっているのです。逆にいえば、米国軍隊がそこを撤退すれば、ジャーナリストたちもほぼ間違いなく一緒に引き上げるという状態にあるということです。

9.11事件直後のアフガン攻撃でも第一次湾岸戦争での「プール」と呼ばれる代表取材方式が採用され、プレスの側はほぼ軍の思うがままに報道せざるを得なかったのですが、03年4月のイラクへの先制攻撃に際してメディアの取材条件とされた「埋め込み」方式は、軍産複合体がそれ以上の周到な準備をし、実施されたものでした。具体的には、その前年からペンタゴン(国防総省)がビクトリア・クラークというPRの専門担当官を広報担当国防次官補として採用し、75人もの軍事アナリストを集めて各メディアに軍事解説者として送り込んだり、戦略的に戦場報道の操作を研究したりして、「埋め込み」の基本戦略となるプロパガンダ作戦「国防総省軍事広報秘密計画」(Pentagon Military Analyst Program)を作りました。また、戦場に入る前に報道機関の経営者と取材記者の両方に対して「危険承知確認書」(RELEASE, INDEMNIFICATION, AND HOLD HARMLESS AGREEMENT AND AGREEMENT NOT TO SUE)に、派遣された記者には詳細な取材条件承諾条項の書かれた文書「グラウンドルール」(Pentagon Media Embed Ground Rules、全8ページ)に署名させています(訳注:後掲の資料1および2を参照)。

そこには、死体写真を撮るな、インタビューは軍の公式な会見や軍が許した担当者に限り、一般軍人との会話は記事にはならない、不利な戦況は報道してはならない、などとあります。解説者の送り込みについては、『ニューヨークタ

イムズ』紙が08年4月に告発報道“Behind TV Analysts, Pentagon’s Hidden Hand”（執筆した David Barstow 記者は09年度のピューリツァ賞を受賞）によって暴露するまで続き、兵士の死体写真報道の禁止条項についても09年に私の旧職場である AP 通信社が報道するまで主流メディアは唯々諾々とそれらの条項に従ってきています。

こうした埋め込み取材方式が実施された結果、ベトナム戦争から50年で初めて、取材手帳とテレビカメラを持ったジャーナリストがアメリカ軍のタンクと装甲車に同乗し、軍隊とともに動き、報道するということが起きているのです。ただし今回の行軍は東南アジアのジャングルに向かってではなく、戦場になっている砂漠をとともに突き進んでの行軍ですが、このイラクにおける報道機関と現地の軍隊と権力との関係についてはきびしい批判を含め、これまで多くの議論がなされてきました。また現実には、この従軍形式のなかでは、取材中に何人ものジャーナリストが味方の米国軍隊によって攻撃されて死亡したり、傷ついています。このことについては、「埋め込み」の取材要綱に署名したにもかかわらず、その契約書に服さず取材、報道を行ったものへの見せしめだという意見も出ています。もちろん、軍の担当者はそうした死亡事件などはすべて偶発的もしくは誤って起きたことであるとして処理してきていますが、疑問の残るところであり、その真相解明はまだできていません。

私個人は、イラクで米軍人から物理的な脅迫を受けたという感じを持ちませんでした。また、米国軍隊にはこれまでジャーナリストをその作戦行動に同行させてきたという伝統があります。ところが、イラクの現場は従来の経験では理解がむずかしい面を持っています。そこではイスラム教スンニー派の暴徒とアルカーイダが自動車による自爆攻撃や誘拐、拉致で現地政府の信用を落とし、転覆させようとしているといった物理的危険もありますし、シーア派の民兵たちも同じく危険で、彼らはバグダッドの街中で犯罪的な誘拐と殺人者集団のような傍若無人なふるまいをしています。しかしこのイラクの戦場にはそれ以上にジャーナリストたちにとっての脅威が存在しています。すなわち、米国軍とイラク政府の両方が記者会見を開き、ブリーフィングを行うのですが、そこでは、いわゆる「スピン」(spin) と呼ばれる、自己を有利に説明するための「情報操作」が行われ、「プロパガンダ」(宣撫工作) がなされているということです。それらの記者会見による発表はしばしば彼らにとってつごうのよいもの、しかも全体の構図からすれば、事実在即さず、つじつまの合わないものばかりです。さらにひどいことに、軍に批判的な記者にはニセ情報をつかませて誤報をさせ、その記者のジャーナリストとしての生命を奪うことさえなされてきています。

私が取材、報道した最初の大きい戦争であるベトナムとこのイラクとの大きな

違いは、ベトナムでは取材陣であるジャーナリストが、米国政府と軍が公式に発表する楽天的な予測に挑戦しようとしたということです。イラクやアフガンに較べて何倍もの大軍を派遣し、かつ犠牲の大きかったベトナム戦争でさえ、結局は米国にとって悪夢に終わりましたが、イラクではキリスト教会への攻撃と破壊に見られるように、米国型宗教や文化までが憎悪の対象となりつつあり、ベトナムよりも悪い状況が起きている可能性があります。しかしテレビのネットワークや主流新聞からはそのような情報はあまり流れてきません。米国のプレスはベトナム以来、ケネディ、ジョンソン、ニクソン、レーガン、父ブッシュなどの政権のやり方とつきあってきましたが、9.11事件以降は、息子ブッシュ政権がさらに悪い状況を作り出してきたといえましょう。

メディアの伝統的な役割の一つは政府官僚に事実を突きつけて挑戦し、彼らに国民への責任ある説明と行動をさせることです。もし「スピン」がなされ、それを問題にせず、そのままジャーナリストが報道してしまえば、米国市民はもとより、世界中がイラクで何が起きているかについて、間違っただけの印象を持ち、間違っただけの対応をすることになります。加えて、私たちジャーナリストは、とくに米国の若者たちの生命がかかった戦争についての情報の場合、事実とそれに基づいた解釈を伝えるべきであり、そこにニセ情報や政府の宣伝だけがあってはならないと私は考えます。皆さんは、結局は文民にすぎず、しかもたいていは軍隊経験のほとんどない記者が、戦争という国家の死活の問題についてそれほど重要な役割を果たしているのか、あるいは果たせるのかという疑問を持たれるかもしれません。しかし、メディアの提供情報が世論を作り、政治的決定に影響していますし、とりわけそのことは、市民が戦場の現場を体験できないときに、あるべき記者の役割として記者たち自身が肝に銘じておくべきことなのです。

### プレスと国家権力との葛藤

アメリカは、世界中で最も自由なプレスをもった自由な社会であることを誇りとしてきました。したがって、アメリカ人はプレスが戦争報道においても重要な役割を果たすべきだと考えています。しかし、米国の憲法は報道機関の役割についての詳細な規定をしていないことは先にふれたとおりです。長い間、最高裁判所は政府が戦時における情報のどこまでの公開責任をもち、その履行をすべきかということ（accountability）を判断すべきだと要請されてきました。もうだいぶ前になりますが、最高裁のすぐれた判事であるポッター・スチュアート（Justice Potter Stewart, 1915-85）が、「報道の限界についての憲法的解釈」（the law of the land on press limits）といわれ、今でも引用される判決を下しました。その判決文にはこうあります。「憲法上、報道機関は政府の秘密と虚偽

情報に対してどこまでも自由に戦いを挑むことができる。しかし、たとえそうでも、報道機関はその戦いが成功するであろうという保証を憲法に期待することはできない。憲法そのものは、情報の自由法でも公的機密保護法でもない。憲法とは、言い換えれば、社会の仕組みの根本を成すものであって、個々の問題を解決するものではない。私たちは米国社会の他の分野でもそうしているように、メディアも政府との間で綱引きをすることによって問題の解決を図っていくべきなのである。」

つまるところ、この最高裁による報道に関する判断は、米国政府と報道機関とのあいだの関係によって慣習的に作られてきたといえます。このことについては、『ニューヨークタイムズ』紙の編集幹部の1人であるマックス・フランケルが2007年に『ニューヨーク・タイムズ・マガジン』誌に寄稿した文章にこう書いています。「(日常的な活動として) 政府はその必要があるとあって、出来るだけ報道機関と市民公衆から情報を隠そうとしている。そして報道機関も自らの必要性と知る権利をかざして、政府の秘密を暴露しようとする。そうしたゲームが恒常的になされ、最初のうちは両者ともに勝ったり負けたりする。それぞれが抑制しながら自分たちの立場で戦い、そうして政府が一つあるいは二つの秘密を暴露されても、政府は新しい現実に合わせて行動を組み立て直す。逆に報道側が負けた場合には、できる限り正確な報道をするように注意を払ったとしても、誤報になってしまうことがあるということである。」

最高裁判決でのキーワードは、アメリカ社会における「権力との綱引き」ということです。今のアメリカは戦時体制にあり、権力側からの力が非常に強くはたらき、影響力があります。戦争とそれに動員される兵士は、米国大統領を含む政府の高官たちによって決定されますし、若者の生死の運命を決める最終決定、宣戦布告をし、同時にその戦争をいつまで継続するか決定も大統領だけがもつ職務権限です。たとえ国民が大統領への信頼感を失うという状況になっても、その権限が変化することはない。それほど、米国では大統領の権限が絶対的なのであり、それを誰がチェックできるかが問題なのです。

### 世論が変える米国の政治と戦争プログラム

冒頭で述べたように、バラク・オバマ大統領は今朝ホワイトハウスでアフガニスタンへの3万人の米兵増派の決定を発表しました。この状況に至るまでの背景には、サダム・フセイン政権の大量破壊兵器の製造と保持、アルカーイダとの連携疑惑などを理由に03年に始まった対イラク先制攻撃戦争と、その前の9.11事件への報復を理由として01年10月に始まったアフガニスタンでの戦争があります。次にそれらについて説明しましょう。



両方の戦争ともほぼ10年目に入っていますし、米軍が完全撤退するまではその戦争は続くこととなりますが、2006年11月、アメリカの有権者たちは戦争を止めようとし、民主党を勝利させました。それから数年、米国民の決定に従い、政府も米軍のイラクからの撤退の準備にかかっています。その趨勢を見極めた政策を表に出した戦略でオバマ氏は08年の選挙を勝ち抜いたわけですが、その彼が今、アフガンでの戦争に固執しはじめています。まさに「イラクからアフガンへ」のスタンスの移動ということですが、そのことは09年1月20日の大統領就任演説にも盛り込まれました。米国社会には、戦争とそこから得られる利益の獲得を目的として投資をしている大きな勢力が存在しており、その構造がこの中東での戦争拡大戦略の背景にもあります。戦争のための武器を製造して提供し、戦いを継続させて大きな利益をあげる巨大な企業で構成された軍産複合体（military-industrial complexes）が影響しているということです。また合衆国軍隊そのものが強力で、名うての軍産複合体の構成物の一組織であり、莫大な国家予算をぶんどり、政府が戦争政策を推進する限り、大統領の命令に忠実に従うという構造を持つのが米国社会であるということです。

それでは米国には戦争に反対している勢力はあるのでしょうか。現在のところ、イラク戦争を終結させようとしてオバマを大統領に選んだ民主党の支持者たちがいます。それらの人たちは、大統領ができるだけ早くアフガン戦争についても米国の関与を終わらせることを望んでいます。また私自身の考え方はどうかといえば、今回の大統領による兵力増派決定の是非をいう立場にはありません。ただしはっきりしていることは、今やアフガンの大半の区域は現在のカルザイ大統領による政府の支配下にはないのですから、いくらそこへの兵力増派を図っても問題の解決ができるような状況ではありません。かつてのベトナム戦争で米国が北ベトナムとの和平交渉で戦争の終結をしたように、イスラム原理主義のタリバンや国際テロ組織といわれているアルカーイダとの交渉のテーブルにつくことによってしか解決の道は開けないということです。そのように理解する米国民が増えていることは、共和党の戦争指向による解決政策に賛成せず、2006年の議会選挙、08年の大統領選挙で共和党に投票しなかった人たちがいたことによって証明されています。ということは、オバマ大統領がそれと反対の行動をすれば、支持率が確実に落ちるといえることでもあります。

問題は報道機関ですが、それはどうなっているのか。米国市民は報道機関としてのメディア、ジャーナリズムに、社会的判断の基礎資料として利用できる正確な情報の提供と信頼できる解説を期待しています。さらには戦争をしている国家を守るということよりも大切なことがあるとも考えている面があります。政府と

軍産複合体が遂行する戦争からますます人心が離れているにもかかわらず、戦争で傷つき、死んでいく若い男女がいるという現実をどうするかということです。先にもふれましたが、米国の最高裁は、報道機関には政府の巨大詐術（mass deception）と秘密主義に挑戦する権利があるという判断をしています。そのことを前提として判断すれば、先述した「埋め込み」というイラクにおける取材統制と報道検閲のシステムは、まだ引き返せる初期の段階でその戦争政策を変えさせることができるという「事実に基づいた真実」（real truth）の公表を妨げてきたのだと、私は確信をもっていうことができます。信頼される報道には事実性（factuality）と迫真性（verisimilitude）があり、それが真実性（truthfulness）の基礎になるわけですが、「埋め込み」方式はそれを支える原理を後退させるものであり、長い目で見ると、米国のメディアだけではなく米国社会にとって大きなマイナスになるものでしょう。しかし、米国政府と軍の幹部はそのシステムを使えば、とりあえずは報道記者を自分たちでコントロールすることができるため、その態勢をますます強固にしていますし、メディア業界に押し寄せる不況とメディア統合がその傾向を助長しています。卑近な言い方になりますが、じっさい、戦場取材コストの軽減という点からも、このシステムに入った記者たちにはセキュリティ（安全確保）費用だけではなく、生活費も宿泊料も必要ありません。彼らには戦場でのテント生活はもちろん、ときにはトレーラーハウスが提供され、それらにはエアコンが完備され、熱いシャワーが浴びられますし、冷蔵庫も備わっているという快適なものです。現地取材のすべてが無料だということですから、メディア側は飛びつき、言われたとおりに取材し、報道することになるわけです。

### 強力な軍産複合体のメディア操作

忘れてならないのはそうした中で行われるブリーフィングには戦争の否定的な情報はなく、肯定的な側面だけが強調され、記者たちは戦地の市民はおろか、実際に戦っている兵士とのインタビューさえできず、そうした報道さえ許されないことを承知して現地に派遣されているということです。この「埋め込み」の最大の問題は、まず主流メディアの経営者と編集局長がその方式を認め、契約書にサインさえしていることにあります。その結果、ペンタゴンによるきびしい検閲が難なくできるようになり、結果、記者たちがそれにかんじがらめにされ、全体の構図を国民にちゃんと報道する能力を発揮できなくなる。報道は軍部の公式見解が中心となり、それを知りながら主流メディアが協力してきていることこそ、今メディアと社会の問題として検証されるべきことだといえましょう。

結果として必然的に戦争報道の質の低下が起り、人びとも統制された紋切り型報道によって、戦争現場で何が起きているかに無関心になるということが起

ています。このことは、ピューリッツア賞の受賞者が、ベトナム戦争時とは違い、イラクとアフガンの戦争では、大手メディアからはほとんど出ていないということでも証明されています。またイラクの現地入りした大手メディアの記者たちは将軍や軍の責任者にだけ取材したが、民衆との接触を持たず、戦争報道が戦う兵士や被害者市民を忘れ、「著名人中心取材報道主義」（セレブリティ・ジャーナリズム）になってしまっているということです。加えて、政府と軍部は心理面での巧妙な「配慮」をして、ジャーナリストを懐柔していることも付け加えておきます。



広報担当の女性兵士（左）と筆者（中央）

写真にあるように、私の隣りに写り、微笑んでいる女性はイラクでの私たち戦場記者の「お世話」役ですが、彼女を従来型広報/PR 担当者のイメージではとらえることはできません。その女性は、報道記者を戦場でタンク（戦車）やハムビー（HUMVEE）と呼ばれる GM 社製の水陸両用装甲車に乗せて運ぶドライバー役もこなします。このように、最近の米軍の戦略では、ぎすぎすした戦場に女性を配置し、現場の雰囲気を和らげる戦略が採られ、場所によっては 2 割以上の兵士、広報部門に限れば 4 割もが女性であることがあります。ふつうの車両であれば、攻撃の標的にされたり、道路に爆弾が仕掛けられておればそれらの危険にきわめて脆弱なのですが、記者たちの取材活動はそれらの愛想のよい兵隊に護衛された、快適で安全なハムビーでの送迎によってなされているのです。



重装備装甲車、ハムビー

いずれせよ、記者たちは軍人と一しょに行動し、慎重に組み立てられたブリーフィングで提供された資料情報で記事を書いているわけです。じっさい、バグダッドに米軍と一緒に「埋め込まれた」記者たちは、厳重に警護された「グリーン・ゾーン」といわれる、米国大使館やイラク政府の機関が入っている建物の会議室で、軍の高官たちから軍事と政治の両分野での説明を定期的に受けています。しかし、いうまでもなく、そこで提供される情報といえば、まったくのプロパガンダとっていいものばかりです。軍の関係者が「埋め込み」取材システムを歓迎するのは、そこでは記者たちが枠組みの外へ出て自由に動き回ることが出来なくなるからです。

ここでまた、先に引用したウィリアム・ダーレイ大佐の言葉を参考にしましょう。「〈埋め込み〉取材は広報担当の将校にはこれ以上は望めないほどの好ましいシステムなのです。この方法では個々の記者の視点を完全に固定できます。人に一本のストローを与え水に潜らせて、そこから水上を見上げさせるような状態に記者たちを置けるのですから、取材される軍隊側の思うままに記者を操れるすばらしいものなのです。このやり方では記者がいくら増えても同じで、そうして取材されたメディアの報道に接した市民が政府への支持を高めていくというわけです。」

いずれにしても、軍事作戦は政治と市民の支持がなければ成功しませんし、軍も動きがとれません。そのダーレー大佐でさえ、現在、イラクにいる軍隊を前にして、自分個人の意見として、米国本国で米軍は政治サイドと民衆の支持を失ってきているとの発言もするようになってきています。また、バグダッドにいるア

アメリカの報道機関にも、「埋め込み」取材についての疑問を持つものが出てきました。英国の新聞『インディペンデント』(*Independent*)紙の著名な記者、パトリック・コックバーンも、記者が自分たちだけで取材するのは危険であるという理由でイラク駐留の軍の保護を受けることには問題があるとの立場からのコメントを残しています。「自分たちは戦闘部隊に守られてイラク各地の都市を取材で訪れているが、それでは実際に地域で暮らしている人びとに会えるはずがないではないか、もし実際の人びとの暮らしが知りたいならば、人びとが自由に話せる環境の下での取材が必要なのだ」と。

公平であるために言っておきますが、「埋め込み」に理解を示す者もいます。Getty Imagesのクリス・ホンジュラスはイラクにおいて事実を見つけることの困難さにふれて次のようにいっています。「もう、イラクがどうなっているかを正確に私たちが知る術(すべ)がなくなっている」、「〈埋め込み〉がなければ、イラクで起きていることをまったく知ることができなくなってしまう」。そして、「もし記者たちが、同行している軍人たちは自分たちの安全のためにそうしているのだと考えるならば、そのこと自体はある程度までは正しいだろう。しかしその言い方を認めてしまうならば、どんな取材でも記者たちがそのようにして守られることが正当化されてしまうことになる」と。

この「埋め込み」がどんなものであるかを理解するために、私自身が数回イラクとアフガニスタンでその取材法を体験してみました。しかしそうして得られる「公式的な軍事関連情報」では、戦争がどのようにして行われているのかの構図は理解できないということがわかりました。ジャーナリストがその職責に誇りをもって報道するかぎり、そこで起きていることの全体構図を理解したという確信を持たねばなりません。それには①現地の軍隊の動き②政治関連動向③市民生活への戦争による影響といったことへの理解が最低限なければなりません。公式発表の裏側に何があるかを取材するには、一般に想像される以上の勇気と洞察力が必要なのです。

### 政治家と高級官僚の戦争責任

もちろん、私は現在、中東で戦争報道に従事している多くの国々の記者たちの中に勇敢で、立派な報道をしている人たちがいることを知っています。イラクでの戦争が始まって3年経った2006年、私はそれまで常駐していたバグダッドを後にしましたが、すでに状況は悪化し、バグダッドでは毎日のように車両爆弾攻撃、誘拐や拉致が起き、米兵の被害も増大し、その死者が3,000名にのぼるという事態になっていました。ところが皮肉なことに、そうした米国にとっての戦況の悪化が起きて、逆に報道の質が高まってきたのです。イラク駐留の米国軍人と政府

当局者がそれ以前よりもはるかに率直に真実を語り出さざるを得なくなったからです。状況を安定させるには現地派遣の米兵が足りないこと、イラク政府軍には危機を抑え、治安維持に対応する能力がないこと、政府関係者に汚職が横行し、事態は事実上の内戦（civil war）に入りつつあること等々が報道され始めました。しかもそれらは、これまですべてコントロールされ、隠蔽されてきたイラクですでに起きていた真実でした。

しかしそのような状況に対してワシントン政府がどのように反応するかを予測することはいとも簡単でした。息子ブッシュ政権はそうした真実を勇敢に報道する記者たちを攻撃し始めたのです。たとえば、ディク・チェイニー副大統領は「記者は尊敬されるべき仕事だが、イラク駐在の記者たちは例外で、しばしば仕事をさぼり、自分では実際の取材や調査をせず、他の記者の誰かが言ったことをそのままオームのようくりかえしているだけだ」とさえ言いました。また、当時の国防副長官のポール・ウォルフォウィッツは、もっとも重大な問題はジャーナリストが臆病者であることだといい、「問題の一部は多くの記者たちは現場での移動を恐れていることにある。そのため、彼らはバグダッドから外へ出ずに、伝聞情報だけを流しているのだ」と続けました。さらに、すでに辞任しているドナルド・ラムズフェルド元国防長官にいたっては、記者たちは国事犯にもあたりかねないとして次のような発言をしています。「問題は政府と記者双方の間違いが重なって起きているのではない。それとは逆で、間違い情報を報道し続け、紛糾させるプレス側に全面的な責任があり、そのことがテロリストに大義名分を与え、イラクの民主化を実現しようとする人たちを落胆させている」と。驚くべきことですが、じっさい、ラムズフェルドはそう言ったのです。

私がここで指摘しておきたいのは、チェイニー、ウォルフォウィッツ、ラムズフェルドの3人が、そろいもそろって、入隊資格条件を満たしているのに、ベトナム戦争で軍務に就くことを忌避したという事実があることです。彼らは国家の定めた徴兵制度で戦場に駆り出され、ベトナムで命をかけて戦ったその他数百万の同年代の米国人とは違い、なんとかして兵役から逃れようとし、徴兵猶予を受けることに成功した人物たちなのです。そんな者たちに戦場のバグダッドから報道する記者たちを「臆病者」呼ばわりさせていいはずがありません。

なぜ彼らはそういう発言をするのでしょうか。その前にまず、なぜ3人はプレス（報道機関）に対してそれほどまでに卑劣な攻撃をするのでしょうか。理由は、「真実」が明らかにされることによって、彼らを含むブッシュ政権の政策的弱点が明らかになってしまう、そしてそれらの真実がこのイラク戦争を推進している者たちの政治的未來を危うくすると考えたからにほかなりません。その点では彼らの攻撃は正鵠を射ているともいえます。共和党の指導者たちは、自分たちの将

来の私的利益を米国市民への責任履行よりも優先してきたため、その暴露が怖かったのです。先に、「軍産複合体」と言いましたが、実際には「軍産政複合体」といったほうがより正確だと思いますが、彼らの意図は成功せず、イラク戦争と戦場の真実は米国の政権政党と大統領を共和党から民主党へ交代させることになりました。

### 結びにかえて—ジャーナリストの矜持と責務

結論に入りますが、アメリカのジャーナリズム教育の名門、コロンビア大学が発行している『コロンビアジャーナリズムレビュー』(*Columbia Journalism Review*) という雑誌の2006年11/12月合併号に、私自身がベトナム戦争の初期にどのような報道をしていたかについて書かれた論文が掲載されています。

筆者は故デイビッド・ハルバースタム(1934-2007)で、彼がそこで書いたことは今日のイラクやアフガニスタンの戦争報道にも通底する部分が多くあります。その論点は、私が本日の講演で言いたかった、「アメリカの報道機関において戦争ジャーナリストはどうあるべきか」について、私よりもはるかに適切な表現で語ってくれています。

ハルバースタムは、現在の世界で、活字ジャーナリストが得る金銭的報酬はとりたてて大きいとはいえないことを指摘したうえで、こうっています。「ジャーナリストの使命への評価はその活動から出てくるものだ。ジャーナリストは現在進行中の歴史を刻むという仕事に従事しており、あまり指摘されないが、そのことにこそ、自らの榮譽を感じ誇りを持つことができる。それがあるからこそ、ジャーナリストは日々休むことなく働き、危険をものともせず、世俗的にはほんのわずかの金銭的報酬しか得られなくとも、自分にしかできない使命として戦場に出かけていくのである。」そして「そのことがあるからこそ、人びとも、現代史の記録者として戦争に関わっている男性、女性のジャーナリストたちに対する尊敬の念をいだき、ジャーナリストもまた、真に〈自由な社会の実現〉を目指して戦場で戦っている同僚記者たちと価値観を共有し、責任ある行動をすることから真の友情と連帯を作り出すことができるのだ。ジャーナリストになるということは民主主義(デモクラシー)の中核部分を担い、自由な社会を支える〈自由人〉になるということである」と。

さらに、ハルバースタムは続けてこうも記しています。「今現在、これまでそうしてきたように、世界中で、多くの若き、有能な男性や女性が取材し、報道を続けている。彼らジャーナリストは俊敏にして賢明、貴重、かつ天賦の才能を駆使し、政治に対する本能的といってもいい判断力によって、困難で複雑な問題を取りあげ、報道し続けてくれている。いうまでもないが、それらのジャーナリス

トたちは常に皆さんを脅迫し、屈服させようとしてくる権力者たちに、社会・公共、つまり市民の代理人として大変な勇気をもって立ち向かい、ペンによって戦いをいどんでいるのだ」と。

これを記したデイビッド・ハルバースタムはつい先年、取材中になりましたが、彼こそ、真に偉大な戦争特派員であり、同時に、私が今なお尊敬してやまないかけがえのない真の友人であります。

ご静聴に感謝申し上げます。

#### 資料1：米国防総省埋め込み取材危険承知確認書

#### RELEASE, INDEMNIFICATION, AND HOLD HARMLESS AGREEMENT AND AGREEMENT NOT TO SUE

1. The United States of America (the “Government”), acting by and through the Department of Defense, believes it to be mutually beneficial to both the Government and news media organizations (“media organizations”) to place selected news media organization employees (“media employees”) with selected military units (“military units”) for the purpose of providing news media coverage before, during, and after military operations. The placement of media employees with military units is referred to in this Agreement as “embedding” or the “embedding process” and will require media employees to live, travel, eat, sleep, and conduct all professional and personal activities with the military unit to which the media employees are “embedded.”
2. Definitions.
  - a. The term “Government” means the United States Government, including its departments, subdivisions, agencies, instrumentalities, officers, employees (including military and civilian personnel), servants, contractors, volunteers, and agents.
  - b. The term “media organization” means the “media employee’s” employer, a registered U.S. or foreign profit or not-for-profit organization, its successors, and assigns.
  - c. The term “media employee” means an employee or agent of a “media organization”, his or her guardians, executors, administrators, heirs,



and assigns.

3. Media organizations and media employees understand and agree that the embedding process will expose media employees to the same risks and hazards as those to which the military members of military units are exposed, including the extreme and unpredictable risks of war, combat operations, and combat support operations, as well as common and uncommon hazards of military living. Media organizations and media employees fully understand and appreciate the following:
  - a. The embedding process will expose media employees to all hazards of a military environment, including but not limited to the extreme and unpredictable hazards of war, combat operations, and combat support operations. The military environment is inherently dangerous and may result in death or personal injury of media employees or damage to personal property.
  - b. The embedding process may include strenuous and inherently dangerous activities, including transportation in, and close proximity to, military tactical vehicles, aircraft, watercraft, and other Government (and Government contracted) vehicles and may involve substantial risk of serious injury or death as the result of the media employee's own actions or inaction, the actions or inactions of others including agents, contractors, officers, service members, and employees of the Government, the conditions of the Government facility and the natural environment, the known or unknown condition of any government-furnished equipment, and the inherent dangers of war, combat operations, and combat support operations.
  - c. The embedding process requires media employees to be in overall good physical health and condition. Persons who are not in overall good physical health and condition should not participate in the embedding process. Media employees should consult their physicians prior to embedding to be certain they are qualified to do so. Persons with a history of heart or lung disease or conditions, or coronary disease, or other chronic or pervasive diseases or conditions may not participate. Likewise, those women currently pregnant may not participate. Anyone suffering from any injuries, conditions, ailments or pre-

existing conditions that could be affected by the embedding process may not participate.

- d. As part of the embedding process, the Government will make available anthrax and smallpox vaccinations to media employees, provided it is done at no cost to the Government (full reimbursement of all Government costs) and provided that the media employees sign an additional agreement regarding the risks involved. These vaccinations are voluntary and are not a prerequisite for participating in the embedding process. Media organizations and media employees agree, for those media employees choosing to receive the anthrax and smallpox vaccinations, that this Release, Indemnification, and Hold Harmless Agreement and Agreement Not to Sue specifically includes all risks and hazards associated with the smallpox and anthrax vaccinations, including any negative reactions, adverse effects, including the media employee's illness, infirmity, or death.

4. The media employee agrees to:

- a. Participate in the embedding process and to follow the direction and orders of the Government related to such participation. The media employee further agrees to follow Government regulations. The media employee acknowledges that failure to follow any direction, order, regulation, or ground rule may result in the termination of the media employee's participation in the embedding process.
- b. Voluntarily, willingly, and knowingly ASSUME ANY AND ALL RISKS, known and unknown, in any way associated with the embedding process, war, combat operations, and combat support operations.
- c. RELEASE, INDEMNIFY, AND HOLD HARMLESS the Government from and against any claims, demands, actions, liens, rights, subrogated or contribution interests, debts, liabilities, judgments, costs, and attorney's fees, arising out of, claimed on account of, or in any manner predicated upon the media employee's participation in the embedding process, including any loss or damage to property or the personal injury or death of any person which may occur as a result of the media employee's participation in the embedding process, even where that loss, damage, personal injury, or death is caused or

contributed to, in any manner, by the Government.

5. The media organization agrees to permit its media employees to participate in the embedding process. As a condition of being permitted to participate in the embedding process, the media organization agrees to RELEASE, INDEMNIFY, AND HOLD HARMLESS the Government from and against any claims, demands, actions, liens, rights, subrogated or contribution interests, debts, liabilities, judgments, costs, and attorney's fees arising out of, claimed on account of, or in any manner predicated upon the media employee's participation in the embedding process, including any loss or damage to property or the personal injury or death of any person, even where that loss, damage, personal injury, or death is caused or contributed to, in any manner, by the Government.
6. The media organization and media employee hereby covenant and agree they will never institute, prosecute or in any way aid in the institution or prosecution of any demand, claim or suit against the Government for any destruction, loss, or damage to the media organization's property or the media employee's property, or the personal injury or death of media employees which may occur as a result of the media employee's participation in the embedding process.
7. The media organization and media employee grant express, voluntary, and knowing consent to the rendering of all emergency medical or dental treatment that may, in the professional judgment of a Government medical or dental officer, become necessary while participating in the embedding process. Transportation to a definitive Government or commercial care facility may be required as an adjunct to authorized emergency medical or dental care. Persons receiving Government medical or dental care who are not otherwise eligible to receive such care shall be obligated to reimburse the Government.
8. The media organization and the media employee understand and agree that the Government may terminate the embedding process at *any time* and for *any reason*, as the Government determines appropriate in its sole

discretion.

9. This Release, Indemnification, Hold Harmless Agreement and Agreement Not to Sue shall be interpreted according to federal law. It is to be construed as broadly and inclusively as is permitted by relevant federal law. If any portion of this document is held invalid, the balance shall continue in full force and effect.

---

Media Employee's Signature Date

---

Media Organization Date

By: \_\_\_\_\_

資料 2 : 米国防総省埋め込み取材グラウンドルール 2003年 3 月 3 日 (対イラク  
戦争直前版)

The Pentagon Media Embed Ground Rules

March 03, 2003

The Pentagon has promised the press more uncensored access to the fight if the United States takes military action against Iraq.

About 800 members of the press – including 20 percent from non-U.S. media – will be assigned slots in specific ground units, aviation units, ships and headquarters throughout the combat zone. They will remain “embedded” with those units as long as they wish and are supposed to have what these Pentagon ground rules describe as “minimally restrictive” access to U.S. forces throughout their stay.

Here is the guidance given to Public Affairs Officers on media embeds:

101900Z FEB 03

FM SECDEF WASHINGTON DC//OASD-PA//

TO SECDEF WASHINGTON DC//CHAIRS//

AIG 8777

HQ USEUCOM VAIHINGEN GE//PA//

USCINCEUR VAIHINGEN GE//ECPA//

JOINT STAFF WASHINGTON DC//PA//

SECSTATE WASHINGTON DC//PA//

CJCS WASHINGTON DC//PA//

NSC WASHINGTON DC

WHITE HOUSE SITUATION ROOM

INFO SECDEF WASHINGTON DC//OASD-PA/DPO//

UNCLASSIFIED

SUBJECT: PUBLIC AFFAIRS GUIDANCE (PAG) ON EMBEDDING MEDIA DURING POSSIBLE FUTURE OPERATIONS/DEPLOYMENTS IN THE U.S. CENTRAL COMMAND'S (CENTCOM) AREA OF RESPONSIBILITY (AOR).

REFERENCES: REF. A. SECDEF MSG, DTG 172200Z JAN 03, SUBJ: PUBLIC AFFAIRS GUIDANCE (PAG) FOR MOVEMENT OF FORCES INTO THE CENTCOM AOR FOR POSSIBLE FUTURE OPERATIONS.

1. PURPOSE. THIS MESSAGE PROVIDES GUIDANCE, POLICIES AND PROCEDURES

ON EMBEDDING NEWS MEDIA DURING POSSIBLE FUTURE OPERATIONS/DEPLOYMENTS IN THE CENTCOM AOR. IT CAN BE ADAPTED FOR USE IN OTHER UNIFIED COMMAND AORS AS NECESSARY.

## 2. POLICY.

- 2.A. THE DEPARTMENT OF DEFENSE (DOD) POLICY ON MEDIA COVERAGE OF FUTURE MILITARY OPERATIONS IS THAT MEDIA WILL HAVE LONG-TERM, MINIMALLY RESTRICTIVE ACCESS TO U.S. AIR, GROUND AND NAVAL FORCES THROUGH EMBEDDING. MEDIA COVERAGE OF ANY FUTURE OPERATION WILL, TO A LARGE EXTENT, SHAPE PUBLIC PERCEPTION OF THE NATIONAL SECURITY ENVIRONMENT NOW AND IN THE YEARS AHEAD. THIS HOLDS TRUE FOR THE U.S. PUBLIC; THE PUBLIC IN ALLIED COUNTRIES WHOSE OPINION CAN AFFECT THE DURABILITY OF OUR COALITION; AND PUBLICS IN COUNTRIES WHERE WE CONDUCT OPERATIONS, WHOSE PERCEPTIONS OF US CAN AFFECT THE COST AND DURATION OF OUR INVOLVEMENT. OUR ULTIMATE STRATEGIC SUCCESS IN BRINGING PEACE AND SECURITY TO THIS REGION WILL COME IN OUR LONG-TERM COMMITMENT TO SUPPORTING OUR DEMOCRATIC IDEALS. WE NEED TO TELL THE FACTUAL STORY – GOOD OR BAD – BEFORE OTHERS SEED THE MEDIA WITH DISINFORMATION AND DISTORTIONS, AS THEY MOST CERTAINLY WILL CONTINUE TO DO. OUR PEOPLE IN THE FIELD NEED TO TELL OUR STORY – ONLY COMMANDERS CAN ENSURE THE MEDIA GET TO THE STORY ALONGSIDE THE TROOPS. WE MUST ORGANIZE FOR AND FACILITATE ACCESS OF NATIONAL AND INTERNATIONAL MEDIA TO OUR FORCES, INCLUDING THOSE FORCES ENGAGED IN GROUND OPERATIONS, WITH THE GOAL OF DOING SO RIGHT FROM THE START. TO ACCOMPLISH THIS, WE WILL EMBED MEDIA WITH OUR UNITS. THESE EMBEDDED MEDIA WILL LIVE, WORK AND TRAVEL AS PART OF THE UNITS WITH WHICH THEY ARE EMBEDDED TO FACILITATE MAXIMUM, IN-DEPTH COVERAGE OF U.S. FORCES IN COMBAT AND RELATED OPERATIONS. COMMANDERS AND PUBLIC AFFAIRS OFFICERS MUST WORK TOGETHER TO BALANCE THE NEED FOR MEDIA ACCESS WITH THE NEED FOR OPERATIONAL SECURITY.
- 2.B. MEDIA WILL BE EMBEDDED WITH UNIT PERSONNEL AT AIR AND GROUND FORCES BASES AND AFLOAT TO ENSURE A FULL UNDERSTANDING OF ALL OPERATIONS. MEDIA WILL BE GIVEN ACCESS TO OPERATIONAL COMBAT

MISSIONS, INCLUDING MISSION PREPARATION AND DEBRIEFING, WHENEVER POSSIBLE.

- 2.C. A MEDIA EMBED IS DEFINED AS A MEDIA REPRESENTATIVE REMAINING WITH A UNIT ON AN EXTENDED BASIS – PERHAPS A PERIOD OF WEEKS OR EVEN MONTHS. COMMANDERS WILL PROVIDE BILLETING, RATIONS AND MEDICAL ATTENTION, IF NEEDED, TO THE EMBEDDED MEDIA COMMENSURATE WITH THAT PROVIDED TO MEMBERS OF THE UNIT, AS WELL AS ACCESS TO MILITARY TRANSPORTATION AND ASSISTANCE WITH COMMUNICATIONS FILING/TRANSMITTING MEDIA PRODUCTS, IF REQUIRED.

EMBEDDED MEDIA ARE NOT AUTHORIZED USE OF THEIR OWN VEHICLES WHILE TRAVELING IN AN EMBEDDED STATUS.

- 2.C.2. TO THE EXTENT POSSIBLE, SPACE ON MILITARY TRANSPORTATION WILL BE MADE AVAILABLE FOR MEDIA EQUIPMENT NECESSARY TO COVER A PARTICULAR OPERATION. THE MEDIA IS RESPONSIBLE FOR LOADING AND CARRYING THEIR OWN EQUIPMENT AT ALL TIMES. USE OF PRIORITY INTER-THEATER AIRLIFT FOR EMBEDDED MEDIA TO COVER STORIES, AS WELL AS TO FILE STORIES, IS HIGHLY ENCOURAGED. SEATS ABOARD VEHICLES, AIRCRAFT AND NAVAL SHIPS WILL BE MADE AVAILABLE TO ALLOW MAXIMUM COVERAGE OF U.S. TROOPS IN THE FIELD.
- 2.C.3. UNITS SHOULD PLAN LIFT AND LOGISTICAL SUPPORT TO ASSIST IN MOVING MEDIA PRODUCTS TO AND FROM THE BATTLEFIELD SO AS TO TELL OUR STORY IN A TIMELY MANNER. IN THE EVENT OF COMMERCIAL COMMUNICATIONS DIFFICULTIES, MEDIA ARE AUTHORIZED TO FILE STORIES VIA EXPEDITIOUS MILITARY SIGNAL/COMMUNICATIONS CAPABILITIES.
- 2.C.4. NO COMMUNICATIONS EQUIPMENT FOR USE BY MEDIA IN THE CONDUCT OF THEIR DUTIES WILL BE SPECIFICALLY PROHIBITED. HOWEVER, UNIT COMMANDERS MAY IMPOSE TEMPORARY RESTRICTIONS ON ELECTRONIC TRANSMISSIONS FOR OPERATIONAL SECURITY REASONS. MEDIA WILL SEEK APPROVAL TO USE ELECTRONIC DEVICES IN A COMBAT/HOSTILE ENVIRONMENT, UNLESS OTHERWISE DIRECTED BY THE UNIT COMMANDER OR HIS/HER DESIGNATED REPRESENTATIVE. THE USE OF

COMMUNICATIONS EQUIPMENT WILL BE DISCUSSED IN FULL WHEN THE MEDIA ARRIVE AT THEIR ASSIGNED UNIT.

3. PROCEDURES.

3.A. THE OFFICE OF THE ASSISTANT SECRETARY OF DEFENSE FOR PUBLIC AFFAIRS (OASD(PA)) IS THE CENTRAL AGENCY FOR MANAGING AND VETTING MEDIA EMBEDS TO INCLUDE ALLOCATING EMBED SLOTS TO MEDIA ORGANIZATIONS. EMBED AUTHORITY MAY BE DELEGATED TO SUBORDINATE ELEMENTS AFTER THE COMMENCEMENT OF HOSTILITIES AND AT THE DISCRETION OF OASD(PA). EMBED OPPORTUNITIES WILL BE ASSIGNED TO MEDIA ORGANIZATIONS, NOT TO INDIVIDUAL REPORTERS. THE DECISION AS TO WHICH MEDIA REPRESENTATIVE WILL FILL ASSIGNED EMBED SLOTS WILL BE MADE BY THE DESIGNATED POC FOR EACH NEWS ORGANIZATION.

3.A.1. IAW REF. A, COMMANDERS OF UNITS IN RECEIPT OF A DEPLOYMENT ORDER MAY EMBED REGIONAL/LOCAL MEDIA DURING PREPARATIONS FOR DEPLOYMENT, DEPLOYMENT AND ARRIVAL IN THEATER UPON RECEIPT OF THEATER CLEARANCE FROM CENTCOM AND APPROVAL OF THE COMPONENT COMMAND. COMMANDERS WILL INFORM THESE MEDIA, PRIOR TO THE DEPLOYING EMBED, THAT OASD(PA) IS THE APPROVAL AUTHORITY FOR ALL COMBAT EMBEDS AND THAT THEIR PARTICULAR EMBED MAY END AFTER THE UNIT'S ARRIVAL IN THEATER. THE MEDIA ORGANIZATION MAY APPLY TO OASD(PA) FOR CONTINUED EMBEDDING, BUT THERE IS NO GUARANTEE AND THE MEDIA ORGANIZATION WILL HAVE TO MAKE ARRANGEMENTS FOR AND PAY FOR THE JOURNALISTS' RETURN TRIP.

3.B. WITHOUT MAKING COMMITMENTS TO MEDIA ORGANIZATIONS, DEPLOYING UNITS WILL IDENTIFY LOCAL MEDIA FOR POTENTIAL EMBEDS AND NOMINATE THEM THROUGH PA CHANNELS TO OASD(PA) (POC: MAJ TIM BLAIR, DSN 227-1253; COMM. 703-697-1253; EMAIL TIMOTHY.BLAIR@OSD.MIL. INFORMATION REQUIRED TO BE FORWARDED INCLUDES MEDIA ORGANIZATION, TYPE OF MEDIA AND CONTACT INFORMATION INCLUDING BUREAU CHIEF/MANAGING EDITOR/NEWS DIRECTOR'S NAME; OFFICE, HOME AND CELL PHONE NUMBERS; PAGER NUMBERS AND EMAIL ADDRESSES. SUBMISSIONS FOR EMBEDS WITH SPECIFIC UNITS SHOULD



INCLUDE AN UNIT'S RECOMMENDATION AS TO WHETHER THE REQUEST SHOULD BE HONORED.

- 3.C. UNIT COMMANDERS SHOULD ALSO EXPRESS, THROUGH THEIR CHAIN OF COMMAND AND PA CHANNELS TO OASD(PA), THEIR DESIRE AND CAPABILITY TO SUPPORT ADDITIONAL MEDIA EMBEDS BEYOND THOSE ASSIGNED.
- 3.D. FREELANCE MEDIA WILL BE AUTHORIZED TO EMBED IF THEY ARE SELECTED BY A NEWS ORGANIZATION AS THEIR EMBED REPRESENTATIVE.
- 3.E. UNITS WILL BE AUTHORIZED DIRECT COORDINATION WITH MEDIA AFTER ASSIGNMENT AND APPROVAL BY OASD(PA).
  - 3.E.1. UNITS ARE RESPONSIBLE FOR ENSURING THAT ALL EMBEDDED MEDIA AND THEIR NEWS ORGANIZATIONS HAVE SIGNED THE "RELEASE, INDEMNIFICATION, AND HOLD HARMLESS AGREEMENT AND AGREEMENT NOT TO SUE, "FOUND AT [see PDF file]. UNITS MUST MAINTAIN A COPY OF THIS AGREEMENT FOR ALL MEDIA EMBEDDED WITH THEIR UNIT.
- 3.F. EMBEDDED MEDIA OPERATE AS PART OF THEIR ASSIGNED UNIT. AN ESCORT MAY BE ASSIGNED AT THE DISCRETION OF THE UNIT COMMANDER. THE ABSENCE OF A PA ESCORT IS NOT A REASON TO PRECLUDE MEDIA ACCESS TO OPERATIONS.
- 3.G. COMMANDERS WILL ENSURE THE MEDIA ARE PROVIDED WITH EVERY OPPORTUNITY TO OBSERVE ACTUAL COMBAT OPERATIONS. THE PERSONAL SAFETY OF CORRESPONDENTS IS NOT A REASON TO EXCLUDE THEM FROM COMBAT AREAS.
- 3.H. IF, IN THE OPINION OF THE UNIT COMMANDER, A MEDIA REPRESENTATIVE IS UNABLE TO WITHSTAND THE RIGOROUS CONDITIONS REQUIRED TO OPERATE WITH THE FORWARD DEPLOYED FORCES, THE COMMANDER OR HIS/HER REPRESENTATIVE MAY LIMIT THE REPRESENTATIVES PARTICIPATION WITH OPERATIONAL FORCES TO ENSURE UNIT SAFETY AND INFORM OASD(PA) THROUGH PA CHANNELS AS SOON AS POSSIBLE. GENDER WILL NOT BE AN EXCLUDING FACTOR UNDER ANY CIRCUMSTANCE.
- 3.I. IF FOR ANY REASON A MEDIA REPRESENTATIVE CANNOT PARTICIPATE IN AN OPERATION, THEY WILL BE TRANSPORTED TO THE NEXT HIGHER HEADQUARTERS FOR THE DURATION OF THE OPERATION.
- 3.J. COMMANDERS WILL OBTAIN THEATER CLEARANCE FROM CENTCOM/PA FOR MEDIA EMBARKING ON MILITARY CONVEYANCE FOR PURPOSES OF

## EMBEDDING.

- 3.K. UNITS HOSTING EMBEDDED MEDIA WILL ISSUE INVITATIONAL TRAVEL ORDERS, AND NUCLEAR, BIOLOGICAL AND CHEMICAL (NBC) GEAR. SEE PARA. 5. FOR DETAILS ON WHICH ITEMS ARE ISSUED AND WHICH ITEMS THE MEDIA ARE RESPONSIBLE TO PROVIDE FOR THEMSELVES.
- 3.L. MEDIA ARE RESPONSIBLE FOR OBTAINING THEIR OWN PASSPORTS AND VISAS.
- 3.M. MEDIA WILL AGREE TO ABIDE BY THE CENTCOM/OASD(PA) GROUND RULES STATED IN PARA. 4 OF THIS MESSAGE IN EXCHANGE FOR COMMAND/UNIT-PROVIDED SUPPORT AND ACCESS TO SERVICE MEMBERS, INFORMATION AND OTHER PREVIOUSLY-STATED PRIVILEGES. ANY VIOLATION OF THE GROUND RULES COULD RESULT IN TERMINATION OF THAT MEDIA'S EMBED OPPORTUNITY.
- 3.N. DISPUTES/DIFFICULTIES. ISSUES, QUESTIONS, DIFFICULTIES OR DISPUTES ASSOCIATED WITH GROUND RULES OR OTHER ASPECTS OF EMBEDDING MEDIA THAT CANNOT BE RESOLVED AT THE UNIT LEVEL, OR THROUGH THE CHAIN OF COMMAND, WILL BE FORWARDED THROUGH PA CHANNELS FOR RESOLUTION. COMMANDERS WHO WISH TO TERMINATE AN EMBED FOR CAUSE MUST NOTIFY CENTCOM/PA PRIOR TO TERMINATION. IF A DISPUTE CANNOT BE RESOLVED AT A LOWER LEVEL, OASD(PA) WILL BE THE FINAL RESOLUTION AUTHORITY. IN ALL CASES, THIS SHOULD BE DONE AS EXPEDITIOUSLY AS POSSIBLE TO PRESERVE THE NEWS VALUE OF THE SITUATION.
- 3.O. MEDIA WILL PAY THEIR OWN BILLETING EXPENSES IF BILLETED IN A COMMERCIAL FACILITY.
- 3.P. MEDIA WILL DEPLOY WITH THE NECESSARY EQUIPMENT TO COLLECT AND TRANSMIT THEIR STORIES.
- 3.Q. THE STANDARD FOR RELEASE OF INFORMATION SHOULD BE TO ASK "WHY NOT RELEASE" VICE "WHY RELEASE." DECISIONS SHOULD BE MADE ASAP, PREFERABLY IN MINUTES, NOT HOURS.
- 3.R. THERE IS NO GENERAL REVIEW PROCESS FOR MEDIA PRODUCTS. SEE PARA 6.A. FOR FURTHER DETAIL CONCERNING SECURITY AT THE SOURCE.
- 3.S. MEDIA WILL ONLY BE GRANTED ACCESS TO DETAINEES OR EPWS WITHIN THE PROVISIONS OF THE GENEVA CONVENTIONS OF 1949. SEE PARA. 4.G.17. FOR THE GROUND RULE.

- 3.T. HAVING EMBEDDED MEDIA DOES NOT PRECLUDE CONTACT WITH OTHER MEDIA. EMBEDDED MEDIA, AS A RESULT OF TIME INVESTED WITH THE UNIT AND GROUND RULES AGREEMENT, MAY HAVE A DIFFERENT LEVEL OF ACCESS.
- 3.U. CENTCOM/PA WILL ACCOUNT FOR EMBEDDED MEDIA DURING THE TIME THE MEDIA IS EMBEDDED IN THEATER. CENTCOM/PA WILL REPORT CHANGES IN EMBED STATUS TO OASD(PA) AS THEY OCCUR.
- 3.V. IF A MEDIA REPRESENTATIVE IS KILLED OR INJURED IN THE COURSE OF MILITARY OPERATIONS, THE UNIT WILL IMMEDIATELY NOTIFY OASD(PA), THROUGH PA CHANNELS. OASD(PA) WILL CONTACT THE RESPECTIVE MEDIA ORGANIZATION(S), WHICH WILL MAKE NEXT OF KIN NOTIFICATION IN ACCORDANCE WITH THE INDIVIDUAL'S WISHES.
- 3.W. MEDIA MAY TERMINATE THEIR EMBED OPPORTUNITY AT ANY TIME. UNIT COMMANDERS WILL PROVIDE, AS THE TACTICAL SITUATION PERMITS AND BASED ON THE AVAILABILITY OF TRANSPORTATION, MOVEMENT BACK TO THE NEAREST LOCATION WITH COMMERCIAL TRANSPORTATION.
- 3.W.1. DEPARTING MEDIA WILL BE DEBRIEFED ON OPERATIONAL SECURITY CONSIDERATIONS AS APPLICABLE TO ONGOING AND FUTURE OPERATIONS WHICH THEY MAY NOW HAVE INFORMATION CONCERNING.
4. GROUND RULES. FOR THE SAFETY AND SECURITY OF U.S. FORCES AND EMBEDDED MEDIA, MEDIA WILL ADHERE TO ESTABLISHED GROUND RULES. GROUND RULES WILL BE AGREED TO IN ADVANCE AND SIGNED BY MEDIA PRIOR TO EMBEDDING. VIOLATION OF THE GROUND RULES MAY RESULT IN THE IMMEDIATE TERMINATION OF THE EMBED AND REMOVAL FROM THE AOR. THESE GROUND RULES RECOGNIZE THE RIGHT OF THE MEDIA TO COVER MILITARY OPERATIONS AND ARE IN NO WAY INTENDED TO PREVENT RELEASE OF DEROGATORY, EMBARRASSING, NEGATIVE OR UNCOMPLIMENTARY INFORMATION. ANY MODIFICATION TO THE STANDARD GROUND RULES WILL BE FORWARDED THROUGH THE PA CHANNELS TO CENTCOM/PA FOR APPROVAL. STANDARD GROUND RULES ARE:
- 4.A. ALL INTERVIEWS WITH SERVICE MEMBERS WILL BE ON THE RECORD. SECURITY AT THE SOURCE IS THE POLICY. INTERVIEWS WITH PILOTS AND AIRCREW MEMBERS ARE AUTHORIZED UPON COMPLETION OF MISSIONS; HOWEVER, RELEASE OF INFORMATION MUST CONFORM TO THESE MEDIA

## GROUND RULES.

- 4.B. PRINT OR BROADCAST STORIES WILL BE DATELINED ACCORDING TO LOCAL GROUND RULES. LOCAL GROUND RULES WILL BE COORDINATED THROUGH COMMAND CHANNELS WITH CENTCOM.
- 4.C. MEDIA EMBEDDED WITH U.S. FORCES ARE NOT PERMITTED TO CARRY PERSONAL FIREARMS.
- 4.D. LIGHT DISCIPLINE RESTRICTIONS WILL BE FOLLOWED. VISIBLE LIGHT SOURCES, INCLUDING FLASH OR TELEVISION LIGHTS, FLASH CAMERAS WILL NOT BE USED WHEN OPERATING WITH FORCES AT NIGHT UNLESS SPECIFICALLY APPROVED IN ADVANCE BY THE ON-SCENE COMMANDER.
- 4.E. EMBARGOES MAY BE IMPOSED TO PROTECT OPERATIONAL SECURITY. EMBARGOES WILL ONLY BE USED FOR OPERATIONAL SECURITY AND WILL BE LIFTED AS SOON AS THE OPERATIONAL SECURITY ISSUE HAS PASSED.
- 4.F. THE FOLLOWING CATEGORIES OF INFORMATION ARE RELEASABLE.
  - 4.F.1. APPROXIMATE FRIENDLY FORCE STRENGTH FIGURES.
  - 4.F.2. APPROXIMATE FRIENDLY CASUALTY FIGURES BY SERVICE. EMBEDDED MEDIA MAY, WITHIN OPSEC LIMITS, CONFIRM UNIT CASUALTIES THEY HAVE WITNESSED.
  - 4.F.3. CONFIRMED FIGURES OF ENEMY PERSONNEL DETAINED OR CAPTURED.
  - 4.F.4. SIZE OF FRIENDLY FORCE PARTICIPATING IN AN ACTION OR OPERATION CAN BE DISCLOSED USING APPROXIMATE TERMS. SPECIFIC FORCE OR UNIT IDENTIFICATION MAY BE RELEASED WHEN IT NO LONGER WARRANTS SECURITY PROTECTION.
  - 4.F.5. INFORMATION AND LOCATION OF MILITARY TARGETS AND OBJECTIVES PREVIOUSLY UNDER ATTACK.
  - 4.F.6. GENERIC DESCRIPTION OF ORIGIN OF AIR OPERATIONS, SUCH AS "LAND-BASED."
  - 4.F.7. DATE, TIME OR LOCATION OF PREVIOUS CONVENTIONAL MILITARY MISSIONS AND ACTIONS, AS WELL AS MISSION RESULTS ARE RELEASABLE ONLY IF DESCRIBED IN GENERAL TERMS.
  - 4.F.8. TYPES OF ORDNANCE EXPENDED IN GENERAL TERMS.
  - 4.F.9. NUMBER OF AERIAL COMBAT OR RECONNAISSANCE MISSIONS OR SORTIES FLOWN IN CENTCOM'S AREA OF OPERATION.
  - 4.F.10. TYPE OF FORCES INVOLVED (E.G., AIR DEFENSE, INFANTRY, ARMOR, MARINES).

- 4.F.11. ALLIED PARTICIPATION BY TYPE OF OPERATION (SHIPS, AIRCRAFT, GROUND UNITS, ETC.) AFTER APPROVAL OF THE ALLIED UNIT COMMANDER.
- 4.F.12. OPERATION CODE NAMES.
- 4.F.13. NAMES AND HOMETOWNS OF U.S. MILITARY UNITS.
- 4.F.14. SERVICE MEMBERS' NAMES AND HOME TOWNS WITH THE INDIVIDUALS' CONSENT.
- 4.G. THE FOLLOWING CATEGORIES OF INFORMATION ARE NOT RELEASABLE SINCE THEIR PUBLICATION OR BROADCAST COULD JEOPARDIZE OPERATIONS AND ENDANGER LIVES.
  - 4.G.1. SPECIFIC NUMBER OF TROOPS IN UNITS BELOW CORPS/MEF LEVEL.
  - 4.G.2. SPECIFIC NUMBER OF AIRCRAFT IN UNITS AT OR BELOW THE AIR EXPEDITIONARY WING LEVEL.
  - 4.G.3. SPECIFIC NUMBERS REGARDING OTHER EQUIPMENT OR CRITICAL SUPPLIES (E.G. ARTILLERY, TANKS, LANDING CRAFT, RADARS, TRUCKS, WATER, ETC.).
  - 4.G.4. SPECIFIC NUMBERS OF SHIPS IN UNITS BELOW THE CARRIER BATTLE GROUP LEVEL.
  - 4.G.5. NAMES OF MILITARY INSTALLATIONS OR SPECIFIC GEOGRAPHIC LOCATIONS OF MILITARY UNITS IN THE CENTCOM AREA OF RESPONSIBILITY, UNLESS SPECIFICALLY RELEASED BY THE DEPARTMENT OF DEFENSE OR AUTHORIZED BY THE CENTCOM COMMANDER. NEWS AND IMAGERY PRODUCTS THAT IDENTIFY OR INCLUDE IDENTIFIABLE FEATURES OF THESE LOCATIONS ARE NOT AUTHORIZED FOR RELEASE.
  - 4.G.6. INFORMATION REGARDING FUTURE OPERATIONS.
  - 4.G.7. INFORMATION REGARDING FORCE PROTECTION MEASURES AT MILITARY INSTALLATIONS OR ENCAMPMENTS (EXCEPT THOSE WHICH ARE VISIBLE OR READILY APPARENT).
  - 4.G.8. PHOTOGRAPHY SHOWING LEVEL OF SECURITY AT MILITARY INSTALLATIONS OR ENCAMPMENTS.
  - 4.G.9. RULES OF ENGAGEMENT.
  - 4.G.10. INFORMATION ON INTELLIGENCE COLLECTION ACTIVITIES COMPROMISING TACTICS, TECHNIQUES OR PROCEDURES.
  - 4.G.11. EXTRA PRECAUTIONS IN REPORTING WILL BE REQUIRED AT THE COMMENCEMENT OF HOSTILITIES TO MAXIMIZE OPERATIONAL SURPRISE.

LIVE BROADCASTS FROM AIRFIELDS, ON THE GROUND OR AFLOAT, BY EMBEDDED MEDIA ARE PROHIBITED UNTIL THE SAFE RETURN OF THE INITIAL STRIKE PACKAGE OR UNTIL AUTHORIZED BY THE UNIT COMMANDER.

- 4.G.12. DURING AN OPERATION, SPECIFIC INFORMATION ON FRIENDLY FORCE TROOP MOVEMENTS, TACTICAL DEPLOYMENTS, AND DISPOSITIONS THAT WOULD JEOPARDIZE OPERATIONAL SECURITY OR LIVES. INFORMATION ON ON-GOING ENGAGEMENTS WILL NOT BE RELEASED UNLESS AUTHORIZED FOR RELEASE BY ON-SCENE COMMANDER.
- 4.G.13. INFORMATION ON SPECIAL OPERATIONS UNITS, UNIQUE OPERATIONS METHODOLOGY OR TACTICS, FOR EXAMPLE, AIR OPERATIONS, ANGLES OF ATTACK, AND SPEEDS; NAVAL TACTICAL OR EVASIVE MANEUVERS, ETC. GENERAL TERMS SUCH AS "LOW" OR "FAST" MAY BE USED.
- 4.G.14. INFORMATION ON EFFECTIVENESS OF ENEMY ELECTRONIC WARFARE.
- 4.G.15. INFORMATION IDENTIFYING POSTPONED OR CANCELED OPERATIONS.
- 4.G.16. INFORMATION ON MISSING OR DOWNED AIRCRAFT OR MISSING VESSELS WHILE SEARCH AND RESCUE AND RECOVERY OPERATIONS ARE BEING PLANNED OR UNDERWAY.
- 4.G.17. INFORMATION ON EFFECTIVENESS OF ENEMY CAMOUFLAGE, COVER, DECEPTION, TARGETING, DIRECT AND INDIRECT FIRE, INTELLIGENCE COLLECTION, OR SECURITY MEASURES.
- 4.G.18. NO PHOTOGRAPHS OR OTHER VISUAL MEDIA SHOWING AN ENEMY PRISONER OF WAR OR DETAINEE'S RECOGNIZABLE FACE, NAMETAG OR OTHER IDENTIFYING FEATURE OR ITEM MAY BE TAKEN.
- 4.G.19. STILL OR VIDEO IMAGERY OF CUSTODY OPERATIONS OR INTERVIEWS WITH PERSONS UNDER CUSTODY.
- 4.H. THE FOLLOWING PROCEDURES AND POLICIES APPLY TO COVERAGE OF WOUNDED, INJURED, AND ILL PERSONNEL:
  - 4.H.1. MEDIA REPRESENTATIVES WILL BE REMINDED OF THE SENSITIVITY OF USING NAMES OF INDIVIDUAL CASUALTIES OR PHOTOGRAPHS THEY MAY HAVE TAKEN WHICH CLEARLY IDENTIFY CASUALTIES UNTIL AFTER NOTIFICATION OF THE NOK AND RELEASE BY OASD(PA).
  - 4.H.2. BATTLEFIELD CASUALTIES MAY BE COVERED BY EMBEDDED MEDIA AS LONG AS THE SERVICE MEMBER'S IDENTITY IS PROTECTED FROM DISCLOSURE FOR 72 HOURS OR UPON VERIFICATION OF NOK

NOTIFICATION, WHICHEVER IS FIRST.

- 4.H.3. MEDIA VISITS TO MEDICAL FACILITIES WILL BE IN ACCORDANCE WITH APPLICABLE REGULATIONS, STANDARD OPERATING PROCEDURES, OPERATIONS ORDERS AND INSTRUCTIONS BY ATTENDING PHYSICIANS. IF APPROVED, SERVICE OR MEDICAL FACILITY PERSONNEL MUST ESCORT MEDIA AT ALL TIMES.
- 4.H.4. PATIENT WELFARE, PATIENT PRIVACY, AND NEXT OF KIN/FAMILY CONSIDERATIONS ARE THE GOVERNING CONCERNS ABOUT NEWS MEDIA COVERAGE OF WOUNDED, INJURED, AND ILL PERSONNEL IN MEDICAL TREATMENT FACILITIES OR OTHER CASUALTY COLLECTION AND TREATMENT LOCATIONS.
- 4.H.5. MEDIA VISITS ARE AUTHORIZED TO MEDICAL CARE FACILITIES, BUT MUST BE APPROVED BY THE MEDICAL FACILITY COMMANDER AND ATTENDING PHYSICIAN AND MUST NOT INTERFERE WITH MEDICAL TREATMENT. REQUESTS TO VISIT MEDICAL CARE FACILITIES OUTSIDE THE CONTINENTAL UNITED STATES WILL BE COORDINATED BY THE UNIFIED COMMAND PA.
- 4.H.6. REPORTERS MAY VISIT THOSE AREAS DESIGNATED BY THE FACILITY COMMANDER, BUT WILL NOT BE ALLOWED IN OPERATING ROOMS DURING OPERATING PROCEDURES.
- 4.H.7. PERMISSION TO INTERVIEW OR PHOTOGRAPH A PATIENT WILL BE GRANTED ONLY WITH THE CONSENT OF THE ATTENDING PHYSICIAN OR FACILITY COMMANDER AND WITH THE PATIENT'S INFORMED CONSENT, WITNESSED BY THE ESCORT.
- 4.H.8. "INFORMED CONSENT" MEANS THE PATIENT UNDERSTANDS HIS OR HER PICTURE AND COMMENTS ARE BEING COLLECTED FOR NEWS MEDIA PURPOSES AND THEY MAY APPEAR NATIONWIDE IN NEWS MEDIA REPORTS.
- 4.H.9. THE ATTENDING PHYSICIAN OR ESCORT SHOULD ADVISE THE SERVICE MEMBER IF NOK HAVE BEEN NOTIFIED.

## 5. IMMUNIZATIONS AND PERSONAL PROTECTIVE GEAR.

- 5.A. MEDIA ORGANIZATIONS SHOULD ENSURE THAT MEDIA ARE PROPERLY IMMUNIZED BEFORE EMBEDDING WITH UNITS. THE CENTERS FOR DISEASE CONTROL (CDC)-RECOMMENDED IMMUNIZATIONS FOR DEPLOYMENT TO

THE MIDDLE EAST INCLUDE HEPATITIS A; HEPATITIS B; RABIES; TETANUS-DIPHThERIA; AND TYPHOID. THE CDC RECOMMENDS MENINGOCOCCAL IMMUNIZATIONS FOR VISITORS TO MECCA. IF TRAVELING TO CERTAIN AREAS IN THE CENTCOM AOR, THE CDC RECOMMENDS TAKING PRESCRIPTION ANTIMALARIAL DRUGS. ANTHRAX AND SMALLPOX VACCINES WILL BE PROVIDED TO THE MEDIA AT NO EXPENSE TO THE GOVERNMENT (THE MEDIA OUTLET WILL BEAR THE EXPENSE). FOR MORE HEALTH INFORMATION FOR TRAVELERS TO THE MIDDLE EAST, GO TO THE CDC WEB SITE AT <[HTTP://WWW.CDC.GOV/TRAVEL/MIDEAST.HTM](http://www.cdc.gov/travel/mideast.htm)>.

- 5.B. BECAUSE THE USE OF PERSONAL PROTECTIVE GEAR, SUCH AS HELMETS OR FLAK VESTS, IS BOTH A PERSONAL AND PROFESSIONAL CHOICE, MEDIA WILL BE RESPONSIBLE FOR PROCURING/USING SUCH EQUIPMENT. PERSONAL PROTECTIVE GEAR, AS WELL AS CLOTHING, WILL BE SUBDUED IN COLOR AND APPEARANCE.
- 5.C. EMBEDDED MEDIA ARE AUTHORIZED AND REQUIRED TO BE PROVIDED WITH, ON A TEMPORARY LOAN BASIS, NUCLEAR, BIOLOGICAL, CHEMICAL (NBC) PROTECTIVE EQUIPMENT BY THE UNIT WITH WHICH THEY ARE EMBEDDED. UNIT PERSONNEL WILL PROVIDE BASIC INSTRUCTION IN THE PROPER WEAR, USE, AND MAINTENANCE OF THE EQUIPMENT. UPON TERMINATION OF THE EMBED, INITIATED BY EITHER PARTY, THE NBC EQUIPMENT SHALL BE RETURNED TO THE EMBEDDING UNIT. IF SUFFICIENT NBC PROTECTIVE EQUIPMENT IS NOT AVAILABLE FOR EMBEDDED MEDIA, COMMANDERS MAY PURCHASE ADDITIONAL EQUIPMENT, WITH FUNDS NORMALLY AVAILABLE FOR THAT PURPOSE, AND LOAN IT TO EMBEDDED MEDIA IN ACCORDANCE WITH THIS PARAGRAPH.

## 6. SECURITY

- 6.A. MEDIA PRODUCTS WILL NOT BE SUBJECT TO SECURITY REVIEW OR CENSORSHIP EXCEPT AS INDICATED IN PARA. 6.A.1. SECURITY AT THE SOURCE WILL BE THE RULE. U.S. MILITARY PERSONNEL SHALL PROTECT CLASSIFIED INFORMATION FROM UNAUTHORIZED OR INADVERTENT DISCLOSURE. MEDIA PROVIDED ACCESS TO SENSITIVE INFORMATION, INFORMATION WHICH IS NOT CLASSIFIED BUT WHICH MAY BE OF OPERATIONAL VALUE TO AN ADVERSARY OR WHEN COMBINED WITH OTHER UNCLASSIFIED INFORMATION MAY REVEAL CLASSIFIED INFORMATION,



WILL BE INFORMED IN ADVANCE BY THE UNIT COMMANDER OR HIS/HER DESIGNATED REPRESENTATIVE OF THE RESTRICTIONS ON THE USE OR DISCLOSURE OF SUCH INFORMATION. WHEN IN DOUBT, MEDIA WILL CONSULT WITH THE UNIT COMMANDER OR HIS/HER DESIGNATED REPRESENTATIVE.

6.A.1. THE NATURE OF THE EMBEDDING PROCESS MAY INVOLVE OBSERVATION OF SENSITIVE INFORMATION, INCLUDING TROOP MOVEMENTS, BATTLE PREPARATIONS, MATERIEL CAPABILITIES AND VULNERABILITIES AND OTHER INFORMATION AS LISTED IN PARA. 4.G. WHEN A COMMANDER OR HIS/HER DESIGNATED REPRESENTATIVE HAS REASON TO BELIEVE THAT A MEDIA MEMBER WILL HAVE ACCESS TO THIS TYPE OF SENSITIVE INFORMATION, PRIOR TO ALLOWING SUCH ACCESS, HE/SHE WILL TAKE PRUDENT PRECAUTIONS TO ENSURE THE SECURITY OF THAT INFORMATION. THE PRIMARY SAFEGUARD WILL BE TO BRIEF MEDIA IN ADVANCE ABOUT WHAT INFORMATION IS SENSITIVE AND WHAT THE PARAMETERS ARE FOR COVERING THIS TYPE OF INFORMATION. IF MEDIA ARE INADVERTENTLY EXPOSED TO SENSITIVE INFORMATION THEY SHOULD BE BRIEFED AFTER EXPOSURE ON WHAT INFORMATION THEY SHOULD AVOID COVERING. IN INSTANCES WHERE A UNIT COMMANDER OR THE DESIGNATED REPRESENTATIVE DETERMINES THAT COVERAGE OF A STORY WILL INVOLVE EXPOSURE TO SENSITIVE INFORMATION BEYOND THE SCOPE OF WHAT MAY BE PROTECTED BY PREBRIEFING OR DEBRIEFING, BUT COVERAGE OF WHICH IS IN THE BEST INTERESTS OF THE DOD, THE COMMANDER MAY OFFER ACCESS IF THE REPORTER AGREES TO A SECURITY REVIEW OF THEIR COVERAGE. AGREEMENT TO SECURITY REVIEW IN EXCHANGE FOR THIS TYPE OF ACCESS MUST BE STRICTLY VOLUNTARY AND IF THE REPORTER DOES NOT AGREE, THEN ACCESS MAY NOT BE GRANTED. IF A SECURITY REVIEW IS AGREED TO, IT WILL NOT INVOLVE ANY EDITORIAL CHANGES; IT WILL BE CONDUCTED SOLELY TO ENSURE THAT NO SENSITIVE OR CLASSIFIED INFORMATION IS INCLUDED IN THE PRODUCT. IF SUCH INFORMATION IS FOUND, THE MEDIA WILL BE ASKED TO REMOVE THAT INFORMATION FROM THE PRODUCT AND/OR EMBARGO THE PRODUCT UNTIL SUCH INFORMATION IS NO LONGER CLASSIFIED OR SENSITIVE. REVIEWS ARE TO BE DONE AS SOON AS PRACTICAL SO AS NOT TO INTERRUPT COMBAT OPERATIONS NOR DELAY

REPORTING. IF THERE ARE DISPUTES RESULTING FROM THE SECURITY REVIEW PROCESS THEY MAY BE APPEALED THROUGH THE CHAIN OF COMMAND, OR THROUGH PA CHANNELS TO OASD/PA. THIS PARAGRAPH DOES NOT AUTHORIZE COMMANDERS TO ALLOW MEDIA ACCESS TO CLASSIFIED INFORMATION.

6.A.2. MEDIA PRODUCTS WILL NOT BE CONFISCATED OR OTHERWISE IMPOUNDED. IF IT IS BELIEVED THAT CLASSIFIED INFORMATION HAS BEEN COMPROMISED AND THE MEDIA REPRESENTATIVE REFUSES TO REMOVE THAT INFORMATION NOTIFY THE CPIC AND/OR OASD/PA AS SOON AS POSSIBLE SO THE ISSUE MAY BE ADDRESSED WITH THE MEDIA ORGANIZATION'S MANAGEMENT.

7. MISCELLANEOUS/COORDINATING INSTRUCTIONS:

7.A. OASD(PA) IS THE INITIAL EMBED AUTHORITY. EMBEDDING PROCEDURES AND ASSIGNMENT AUTHORITY MAY BE TRANSFERRED TO CENTCOM PA AT A LATER DATE. THIS AUTHORITY MAY BE FURTHER DELEGATED AT CENTCOM'S DISCRETION.

7.B. THIS GUIDANCE AUTHORIZES BLANKET APPROVAL FOR NON-LOCAL AND LOCAL MEDIA TRAVEL ABOARD DOD AIRLIFT FOR ALL EMBEDDED MEDIA ON A NO-COST, SPACE AVAILABLE BASIS. NO ADDITIONAL COSTS SHALL BE INCURRED BY THE GOVERNMENT TO PROVIDE ASSISTANCE IAW DODI 5410.15, PARA 3.4.

7.C. USE OF LIPSTICK AND HELMET-MOUNTED CAMERAS ON COMBAT SORTIES IS APPROVED AND ENCOURAGED TO THE GREATEST EXTENT POSSIBLE.

8. OASD(PA) POC FOR EMBEDDING MEDIA IS MAJ TIM BLAIR, DSN 227-1253, CMCL 703-697-1253, EMAIL TIMOTHY.BLAIR@OSD.MIL.